

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 30 日 (2021.9.30)

【公開番号】特開 2020-40392 (P2020-40392A)

【公開日】令和 2 年 3 月 19 日 (2020.3.19)

【年通号数】公開・登録公報 2020-011

【出願番号】特願 2019-147176 (P2019-147176)

【国際特許分類】

B 4 2 D 25/369 (2014.01)

G 0 2 B 5/26 (2006.01)

【F I】

B 4 2 D 25/369

G 0 2 B 5/26

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 8 月 19 日 (2021.8.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板上に印刷した光学的物品において、
有機結合剤と、

前記有機結合剤内に設けられた複数の反射性磁気小板であって、

前記複数の反射性磁気小板は、回転面の少なくとも一部分に一致するよう整列させられ、

前記複数の反射性磁気小板は、前記基板が第 1 軸線の周りに回転するとき前記光学的物品の第 1 反射効果を生ずるよう、また前記基板が第 2 軸線の周りに回転するとき前記光学的物品の第 2 反射効果を生ずるよう整列させられ、

前記第 1 反射効果は前記第 2 反射効果とは異なるものであるような、
該複数の反射性磁気小板と、
を備え、

前記第 1 反射効果は、前記光学的物品からの反射の左側部分及び右側部分の第 1 移動であり、前記第 1 移動は前記光学的物品からの前記反射の中心部分の第 2 移動よりも大きい
光学的物品。

【請求項 2】

請求項 1 記載の光学的物品において、前記回転面は漏斗状の形状である、光学的物品。

【請求項 3】

請求項 1 記載の光学的物品において、前記回転面は、放物線又は双曲線に基づいて規定される、光学的物品。

【請求項 4】

請求項 1 記載の光学的物品において、前記回転面は、双曲放物面として形成される、光学的物品。

【請求項 5】

請求項 1 記載の光学的物品において、前記第 1 軸線は水平軸線であり、また前記第 2 軸線は垂直軸線である、光学的物品。

【請求項 6】

請求項 1 記載の光学的物品において、前記第 1 軸線は前記第 2 軸線に対して直交する、光学的物品。

【請求項 7】

請求項 1 記載の光学的物品において、前記回転面は、自然対数に基づいて規定される、光学的物品。

【請求項 8】

基板上に光学的物品を形成する方法において、

複数の反射性磁気小板を含んでいる有機結合剤を前記基板上に設けるステップと、

1 つ又はそれ以上の磁石を用いて前記有機結合剤に対して磁場を印加する磁場印加ステップであって、前記磁場は、前記複数の反射性磁気小板を回転面の少なくとも一部分に一致するよう整列させるものであり、

前記複数の反射性磁気小板は、前記基板が第 1 軸線の周りに回転するとき前記光学的物品の第 1 反射効果を生ずるよう、また前記基板が第 2 軸線の周りに回転するとき前記光学的物品の第 2 反射効果を生ずるよう整列させられ、

前記第 1 反射効果は前記第 2 反射効果とは異なるものであるようにされる、該磁場印加ステップと、

前記有機結合剤を固化又は硬化させるステップと、
を含み、

前記 1 つ又はそれ以上の磁石は、互いに平行に設けられた 2 つの磁石を含み、

前記 2 つの磁石のコーナーは切除され又は丸みを付けられている、方法。

【請求項 9】

請求項 8 記載の方法において、前記回転面はほぼ漏斗状の形状である、方法。

【請求項 10】

請求項 8 記載の方法において、前記回転面は、ほぼ双曲放物面として形成される、方法。

【請求項 11】

請求項 8 記載の方法において、前記 1 つ又はそれ以上の磁石は、同一平面となるよう設けられたほぼ三角形の 2 つの磁石を含む、方法。

【請求項 12】

請求項 11 記載の方法において、前記三角形の 2 つの磁石の第 1 側面は前記有機結合剤に平行かつ前記有機結合剤から遠位側となり、また前記三角形の 2 つの磁石の第 2 側面は前記有機結合剤に直交しかつ互いに接触するよう設けられる、方法。

【請求項 13】

請求項 8 記載の方法において、前記 1 つ又はそれ以上の磁石は、2 又はそれ以上の三角形切欠きが付いた磁石を含む、方法。

【請求項 14】

複数の反射性磁気小板を有する光学的物品を備える文書であって、

前記複数の反射性磁気小板は、回転面の少なくとも一部分に一致するよう整列させられ、

前記複数の反射性磁気小板は、前記光学的物品が第 1 軸線の周りに回転するとき前記光学的物品の第 1 反射効果を生ずるよう、また前記光学的物品が第 2 軸線の周りに回転するとき前記光学的物品の第 2 反射効果を生ずるよう整列させられ、

前記第 1 反射効果は前記第 2 反射効果とは異なるものであり、

前記第 2 反射効果は、前記光学的物品からの反射の第 1 部分における明輝化であり、前記光学的物品からの前記反射の第 2 部分における暗黒化である、文書。

【請求項 15】

請求項 14 記載の文書において、前記第 1 反射効果は、前記光学的物品からの反射の第 1 部分の拡大化及び前記光学的物品からの前記反射の第 2 部分の狭小化である、文書。

【請求項 16】

請求項 14 記載の文書において、前記第 2 反射効果は更に、前記光学的物品からの反射

の第 1 部分の第 1 側方移動であり、前記第 1 側方移動は、前記光学的物品からの前記反射の第 2 部分の第 2 側方移動よりも大きい、文書。

【請求項 17】

請求項 14 記載の文書において、前記第 1 反射効果は、前記光学的物品からの反射の左側部分及び右側部分の第 1 移動であり、前記第 1 移動は、前記光学的物品からの前記反射の中心部分の第 2 移動よりも大きい、文書。

【請求項 18】

請求項 14 記載の文書において、前記第 1 軸線は水平軸線であり、また前記第 2 軸線は垂直軸線である、文書。

【請求項 19】

請求項 8 記載の方法において、前記第 1 反射効果及び前記第 2 反射効果は、光の角度又は見る角度に基づいて生み出される、方法。

【請求項 20】

請求項 14 記載の文書において、前記第 1 反射効果及び前記第 2 反射効果は、光の角度又は見る角度に基づいて生み出される、文書。